

## 電子図書館導入の概要について

## 1. 趣旨

いつでも・どこでもインターネット環境があれば利用できる電子図書館（電子書籍の貸出）サービスを導入することにより、非来館型サービスの充実に取り組むもの。

住んでいる地域に関わらず、市民が等しく図書館サービスの提供を受けることのできる読書環境の整備や、読み上げ機能や文字サイズ拡大機能など読書バリアフリーの推進に寄与できる。また、郷土資料等の独自資料の電子アーカイブ化・公開も可能である。

## 2. 予算

10,098 千円

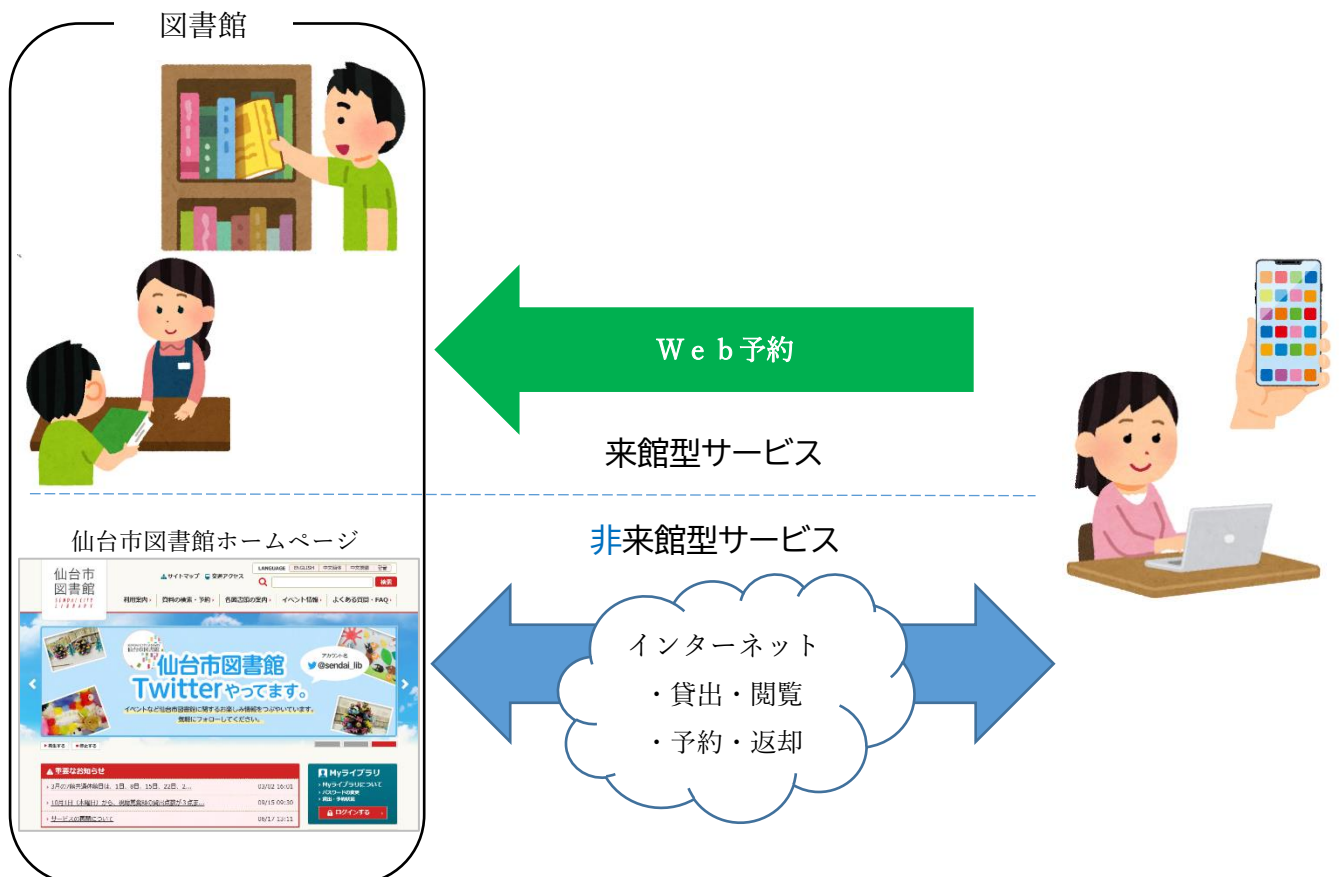
うち電子書籍コンテンツ使用料 7,480 千円（令和3年度目標 2,000 コンテンツ程度）

## 3. スケジュール

令和3年中に導入予定

（契約から運用開始まで3か月～4か月程度の期間を要する）

## 4. 構図



## 5. 他都市の事例

### (1) 浜松市 (令和2年1月～)

対象者	貸出冊数	貸出期間	予約冊数	コンテンツ数
浜松市内に在住、または通勤・通学者で、 浜松市立図書館の有効な利用者カード を持っている人	3冊	15日間	3冊	1,676冊

The screenshot shows the Hamamatsu City Library website. The main navigation bar includes 'マイ図書館' (My Library), '重要なお知らせ' (Important Notices), and 'はままつ電子図書' (Hamamatsu E-books), which is circled in blue. A blue arrow points from the circled link to a separate screenshot of the e-book service interface.

### (2) 熊本市 (令和元年11月～)

対象者	貸出冊数	貸出期間	予約冊数	コンテンツ数
<ul style="list-style-type: none"> <li>熊本市在住、または通勤・通学者で、 図書館の利用登録をしている人</li> <li>熊本市立の小中学校に在籍し学校図書 カードを持っている児童生徒</li> </ul>	3冊	2週間	3冊	14,683冊

The screenshot shows the Kumamoto City Library website. The main navigation bar includes '電子図書館' (E-library), which is circled in blue. A blue arrow points from the circled link to a separate screenshot of the e-library service interface.

## 6. 使い方のイメージ

### ① 資料を探す (ジャンルもしくは検索ワードから探す)

ジャンルで探す

- 総記
- 哲学
- 歴史
- 社会科学
- 自然科学
- 技術・工学・工業
- 産業
- 芸術・美術
- 言語
- 文学
- 音楽・音声
- 児童

ジャンルをクリックすると該当する資料を検索します。

資料を探す

フリーワード検索

検索

+ 詳細検索

検索ワードを自由に入力して検索することができます。

詳細検索では、資料名、著者名、出版者名、出版年月、対応デバイス等の条件を指定して検索することができます。

### ② 資料を借りる (資料によっては、借りる前に試し読みできるものもある)

憲法と日本のあゆみ -明治・大正-

著者: 伊藤光一 著

出版者: 日本専門図書出版

コンテンツタイプ: 電子書籍 (フィックス)

Windows Mac  
iOS Android

借りる

試し読み

貸出完了

「憲法と日本のあゆみ -明治・大正-」の貸出が完了しました。2014年09月22日までご利用いただけます。なお、ご利用期限日を超えると自動的に返却されます。

今すぐ読む 借りている資料一覧へ 閉じる

これで貸出が完了しました。現在借りている資料は、マイページの借りている資料一覧で確認できます。

### ③ 資料を読む

憲法と日本のあゆみ -明治・大正-

著者: 伊藤光一 著

出版者: 日本専門図書出版

コンテンツタイプ: 電子書籍 (フィックス)

Windows Mac  
iOS Android

読む

読むをクリックすると電子書籍ビューワが開き、資料を読むことができます。

憲法と日本のあゆみ -明治・大正- Google Chrome

https://www.d-library.jp/reader/binReader.htm?cid=1077

### ○ その他機能 (音声読み上げ機能)

読み上げる文章には色が順次表示されます。ページ末尾の読み上げが終了すると、自動的にページめくりを行い読み上げが継続されます。

「ボワ」と、わたしは、叫ぶようにいった。「きみは、髪を染めているんだね！」

「ああ、やっと、きみにもわかったよだね！」

「すると、それで、この前に、ぼくが帰ってきた時よりも、きみの髪がずっと黒く見えるというわけなんだね」

「まったく、そのとおり」

「やれやれ」と、わたしは、驚きから立ちあがって、いった。「じゃ、このつき帰って来たぞ、つけひげをつけているきみに、お目にかかるのじやないかな——それとも、もうつけているのじやないかい？」

ボワは、がっかりした顔をした。かれの口ひげは、いつも、かれが気にしている急所、おそろしく自慢にしていた。つまり、わたしの言葉が、その痛どころに触れたわけだ。

「いや、いや、とんでもない、あなた、そんな日は、まだ来て、ずっ先のことには願いたいですね。つけひげなんて！」

わたしは、すわかりをほろりととられて、かれを見つめた。ひとすもい、わたしは、寝室へ包を運んで行ったと思ふと、指を一つ手にして来て、わたしに渡した。

わたしは、なんのこともやらわらないまま、その指を受けとった。

指には、こう書いてあった。

ルウィーイ——毛髪に自然の色を待ち来ます。ルウィーイは、染料に染まる。灰色、栗色、赤黄色、褐色、黒色の、五種の色調に生かす。

再生ボタン